第２号様式

SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	9月27日	企業名	株式会社大成

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

No.	側面(分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	環境	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握 ・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施 ・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入	・昼休みの消灯を実践し電気使用量の削減を実施している。 ・5月～10月のクールビズ、11月～４月のウォームビスと年間を通じてエアコンの適正な温度設定を管理し温室効果ガスの排出を抑制すると共に電気の使用量の削減に努めている。 ・社屋の屋上に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを利用している。 ・社内の照明器具を全てLED照明に交換し省エネを促進。							●					●	●				
2	環境	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	・廃棄物の削減計画の推進 ・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施 ・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進 ・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施	・社内で使用する封筒は、再利用、データ管理のペーパーレス化を推進し、廃棄物の削減に努めている。機密書類をリサイクル業者に出し、再生されたトイレットペーパーを全社で使用している。									●			●	●	●	●		
3	環境	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。	・海や山などにおけるゴミ拾い活動 ・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用 ・市の自然環境保全活動への協力・賛同													●	●	●	●		
4	社会 環境	事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。	・認証製品など非合法材でない原材料の調達 ・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請	・社員の健康と安全に配慮し、毎年安全運転教育を実施している。 ・全ての車両にドライブレコーダーを設置し、安全運転及びエコドライブを実践することで、排出ガスを抑えると同時に燃料の使用削減に繋げている。 ・ドライブレコーダーによる総合得点の平均点を常に全国平均以上に保つ。										●		●	●	●	●		
5	経済 社会	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。	・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備 ・不具合発生時の対応手順の整備 ・ISO9001の取得	・仕入先メーカー４００社以上ある中でも安全性の保障されるメーカー(主に国内の大手メーカー)の商材を主体として販売するようにしている。 ・ノンフロンマークの商材(エアコン・冷蔵庫)を扱っている。 ・補助金対象となっている環境基準適合の機種を積極的に販売する。								●	●			●					
6	経済 社会 環境	環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供 ・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮 ・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発	・環境に配慮した製品(エコケーブル等)を積極的に販売している。 ・環境に配慮した製品を提供するメーカーかとの連携を深め、情報を共有し、それらの製品を工事店又は最終需要家に提案、提供し続ける事で安心安全な生活と先進な街づくりに貢献している。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	経済 社会	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている ・テレワークの導入 ・早帰り、ノー残業デーの推進	・毎週水曜日を早帰りデーとして残業時間を抑制 ・有給休暇の取りやすい環境づくりと有休利用強化月間(3月4月の卒業、入学シーズン、7月8月の夏休みシーズン)に連続して休暇が取れる様に配慮している。 ・2025年を目標として年年間平均有休得日数を１０日から１５日にする。 ・男性の育児休暇取得を推進し当たり前に取得できる環境づくりを目指す。			●		●			●		●								
8	社会	年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている ・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備 ・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進	・障碍者雇用の法定雇用率2．３％の実現に向けて積極的に雇用 ・任意労災保険に加入し、社員が就業中の怪我の補償以外にも病気による入院や手術の補償をして安心して生活できるように配慮している。					●			●		●								
9	社会	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定 ・ハラスメント研修の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置	・ハラスメント禁止の社内規定を社内のホームページに掲載し、周知すると共にハラスメントの相談窓口を設置している。 ・ハラスメント研修を年に１回実施する。 ・相談窓口を男性、女性それぞれ設置する。					●			●										

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・殆どの会議をオンラインで行い、移動による時間の効率化や車両の使用を抑制している。 ・全てのパソコンに対してシャットダウンシステムを設定し、時間管理を徹底している。 ・固定残業時間を段階的に減らしていく。								●	●		●	●					
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・インターンシップの受入れを積極的に行っている。 ・インターンシップでは地域に密着した仕事について、営業動向も導入しながら理解を促している。 ・求人イベントに参加し、Uターン・Iターンの推進を行っている。 ・地元に若者が帰ってきたくなるような元気な街づくりをサポートするため、サッカーJ3リーグで地元沼津のチーム、アスルクラロ沼津にスポンサーとして協賛				●				●		●							
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・全社員を対象としてストレスチェックを毎年実施している。 ・希望者には産業医との面談または電話での相談を実施するなどメンタルヘルスに対応している。 ・インフルエンザの予防接種に上限４０００円の補助を行い感染症予防に努める。 ・人間ドック受診者に対して10000円／１人の補助を支給 ・人間ドックの受診率を2025年までに35%→50%とする。			●					●									
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・資格制度を導入しており、電気工事士の資格取得における受験費用の会社負担と給与の資格手当支給を行う事により個人のスキルアップを推進している。				●				●									●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置									●		●						●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サスティナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・SDGs推進の担当を総務課とし、社員に対して社内ホームページの掲示板にてサスティナビリティー推進の周知を行っている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している													●					
17	自由 記述	環境 ・ 経済 ・ 社会		・仕入先とのパートナーシップを組むとともに、地元の電気工事店に対して、仕事づくりに貢献し、地域社会への貢献度を上げている。								●			●					●	●

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の２点を満たしたうえで提出してください。
①経済・社会・環境の３つの側面それぞれについて、取組を設定していること
②10項目以上記載すること